

第四章 軍動員ト国家総動員トノ

関係

第一節 人的国力ノ状況

一、総人口ノ増加傾向

支那事変ニ引キ続キ大東亞戦争トナリ所謂決戦ノ連続ニヨリ戦時歳耗相当ニ大ナルニ拘ラス我カ国総人口ハ下表ノ如ク依然増加膨脹ノ傾向ヲ維持シタリ

調査年度	総人口			前調査年度ニ対スル増加人口	備考
	男	女	計		
昭和12年	35,209,700	35,543,100	70,752,800		1.本表ハ各年度共ニ新集録中ノ者ヲ含ミテ算出スルニ於テ、昭和15年度ニ於テハ約135万、19年度ニ於テハ約270万ノ増加ヲ計スルヲ要ス
昭和15年	34,848,774	36,531,849	71,380,543	627,743	
昭和19年	34,497,875	38,277,726	72,777,601	1,397,058	

2. 12年度は推計とし15,19年度は国勢調査の統計に依る

二、青壮年層ノ減少ト産業別人口動態

前述ノ如ク我カ国総人口ハ数的ニハ毎年増加ノ傾向ヲ維持シ得タルモ軍動員強化爲氣後ニ於ケル男子生産年齢人口（13才ヨリ60才迄）ハ昭和19年度ニ於テハ昭和15年度ニ比シ、約60万ノ減少ヲ示シアリ。而カモ軍需生産ノ拡充ニ伴ヒ青壮年男子ハ不急産業方面ニ於テハ極度ニ縮減セラレタルニ反シ軍需産業方面ニハ急激ニ集中増加セラレタリ、其ノ状況ヲ13才ヨリ60才迄ノ男子ニツキエラ示セハ下表ノ如シ

13才～60才間ノ男子産業人口(単位万)

産業別	15年度	19年度	増(減)
農 業	557.8	465.4	(92.4)
水産業	43.3	32.7	(10.6)
商 業	278.8	96.2	(182.6)
工 業	602.1	691.9	89.8

(267)

交 通 業	119.6	122.6	3.0
鉱 業	52.1	65.7	13.6

三、軍動員及軍需生産ノ拡充強化ニ伴フ人的国力ノ推移状況

大東亜戦争後半期特ニ昭和19年度以降動員ノ劃期的強化ト軍需生産ノ飛躍的拡充ノ影響ヲ蒙リ比較的余裕アリシ我が國人的資源モ亦漸ク逼迫ヲ告ケ特ニ本土決戦準備時期ニ於テハ人的動員ハ尤大ナル兵員ヲ必要トスルニ至リ軍動員ト総動員トノ節調漸ク破綻ニ瀕セントスルノ窮状ヲサヘ露呈スルニ至レリ

即チ昭和20年度（前半期）生産計画ニ基ク所要労働力ニ対シ動員可能労働力ハ約250万ノ不足ヲ示シ之カ充足ノ為ニハ不急産業ノ徹底的圧縮、未動員学徒ノ完全動員、國民皆勤態勢ノ確立、朝鮮、台湾人等外地労働力ノ移入等ニ依リ之カ解決ヲ図ラントセシモ既ニ不急産業ハ國民生活ノ最低限近ク圧縮セラレ外地労働力ノ移入モ亦海上交通ノ杜絶ノ為不可能トナリ本土決勝兵備建設ト共ニ國內到ル所ニ労働力ノ数的不足ト質的低下ヲ招来スルニ至レリ。

第二節 総動員トノ節調保持ニ関シ軍動員上 若意セル事項

軍動員実施ニ方リテハ常ニ軍動員ハ「総動員ニ優先ス」トノ觀念ノ下ニ施策セラレタルモ軍動員ノ強化軍需生産ノ拡充等ニ伴ヒ特ニ総動員トノ節調保持ニ関シ慎重ナル考慮ヲ払ヒ相互ニ能ク均衡ヲ保チ以テ人的国力ノ綜合發揮ニ遺憾ナカラシメタリ而シテ此種施策中主要ナルモノハ、(1)召集延期制度、(2)臨時召集延期制度、(3)入營延期制度、(4)特別召集解除制度、(5)召集要考慮制度等ニシテ軍需生産左程ニ大ナラス、且動員兵力300万内外ヲ出テサリシ昭和18年度迄ハ総動員的ニハ余人ヲ以テ代ヘ難キ特技ヲ有スル者ヲ主トシテ確保スルコト即チ質ノ確保ニ努メタルモ軍動員、軍需生産逐次拡充強化セラルルニ及ビ質ノ確保ノミニテハ到底所要ノ軍需生産ヲ確保シ難キニ到リ質ノミナラス某程度量（労働力）ノ確保ヲ必要トスル

(228)